

自分も相手も大切にする自己表現を！

近頃の子どもたちは、「友だちとの関係がうまくいかずにトラブルを起こしてしまう」「きつい言葉を平気で言うってしまう」「自分の気持ちや考えを言わずに人の意見に流されてしまう」といった実態があります。言語によるコミュニケーション能力の低下が懸念されます。そこで、5月12日(金)、私にとって六小での初めての朝会講話は、「しずかちゃんになろう」という話をしました。(概要：アニメ「ドラえもん」の登場人物、ジャイアン、のび太、しずかを例にして、攻撃的な話し方、非主張的な話し方、理想的な話し方を示し、自分も相手も大切にするしずかちゃんの話し方を学ばせる。)

これは、アサーション・トレーニングという「自己否定的な傾向が強くて自己表現をうまくできない人や、逆に自己主張が強すぎて、相手を抑えこんでしまうような言動をする人に、自分も相手も大切にする自己表現、対人関係の持ち方を訓練する技法」です。

子どもたちが、自他ともに大切にする人間関係を築くことができるように、ご家族の温かい励ましをよろしくお願いいたします。



子どもの読書を応援しましょう！

子どもの読書活動は、ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにするなど、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

国立青少年教育振興機構の調査によると、子どもの頃の読書活動が多い人ほど、大人になってからの未来志向や社会性などの「意識・能力」が高いことが分かりました。また、小学校に入学する前や低学年時に読書活動が多かった高校生は、人を思いやる気持ちや社会のルールを守る意識などの能力が高い傾向があります。毎年4月に実施している全国学力・学習状況調査によると、「読書が好きですか」との質問に対して「当てはまる」と回答した小中学生は、ともに国語や算数等の平均正答率が高い結果になっています。県でも「群馬県子ども読書推進計画(第三次)(平成27~31年)」を策定しました。

六小では、毎週木曜日が全校読書の日です。「よみうさぎ」の読み聞かせを聞いたり自分で選んだ本を静かに読んだりしています。図書委員会は、児童の読書量を増やすための工夫をしながら活動しています。また、読み聞かせもしてくれています。私も朝会等で読み聞かせを行おうと考えています。子どものうちから読書習慣を身に付けさせるには、親がその重要性を理解し、積極的に子どもの読書活動に関わっていくことが必要です。子どもは親の行動を手本にします。親自身が読書する姿を子どもに見せたり、家庭で本の読み聞かせをしたりするほか、一緒に図書館に出かけるなど、日頃から子どもが本に接する機会が増えるよう、子どもの読書活動を応援してあげてください。



<読み聞かせ>

青少年赤十字登録式！

5月19日(金)の朝行事で、「青少年赤十字のメンバーとしての自覚をもたせ、学校生活の中で『気づき』『考え』『実行する』ことのできる児童の育成を目指す。」ことをねらいとし、青少年赤十字登録式を行いました。青少年赤十字委員会の児童が進行し、今年度の活動内容の発表や登録署名、1年生へのワッペン授与、誓いのことばなどを行いました。

- ・赤い羽根や緑の募金活動の実施
- ・書き損じはがき等の回収活動の実施
- ・様々な奉仕活動の実施
- ・青少年赤十字トレーニングセンターに参加

今年度六小では上のような活動を進めていきます。児童の主体的な活動を支援していきたいと考えます。



<登録署名をしました！>

3年生、自転車安全教室！

5月10日（水）、交通指導員の鹿野さん、安藤さん、渡邊さん、赤坂さんを講師にお招きし、「自転車の正しい乗り方を身に付け、安全に走行する技能と態度を養う。」ことを目的に、3年生の自転車安全教室を実施しました。まず、自転車の正しい乗り方について、交通指導員さんから教えていただきました。次の実地訓練では、みんな一生懸命に取り組んでいましたが、運転技能がとても未熟な児童もいました。最後の交通指導員さんによる指導講評では、「もっと運転技能を磨いて、その上で交通ルールを守って安全に走行しよう。」と話してくださいました。

保護者の皆様には、お子さんの運転技能をよくご覧になって、乗る範囲を決めていただきたいと思います。また、六小では必ずヘルメットをかぶる約束になっていますので、ご協力よろしくお願いいたします。



<実地訓練はむずかしい！>

1年生の「学校探検」を2年生がリード！

5月12日（金）、1年生が学校探検を行いました。班に分かれた1年生をお兄さんお姉さんの2年生がリードしながら学校の中を探検します。校長室や職員室、保健室、PC室等々、様々な教室を回りながら、その場にいた先生からスタンプやサインをもらっていきます。感心したのは、どの1年生もしっかり「お願いします。」とあいさつし、スタンプを押してもらおうと「ありがとうございました。」とお礼が言えたことです。学校を探検する中で、たくさんの先生と会い、きちんとあいさつやお礼の言葉を使う学習でもありました。中には照れくさそうに言う子やちょっと声の小さな子もいましたが、あいさつやお礼を言う大切さに気付いてくれたと思います。もっと感心したことは、2年生が1年生をしっかりリードしていたことです。1年間の成長の大きさを実感することができました。1年生は、5月22日（月）に、自分達だけで学校探検を行いました。



<校長室も探検です！>

1年生、親子活動で給食試食会！

5月17日（水）、1年生の親子活動が行われました。保護者の方々は、始めに体育館で、本校の飯島栄養教諭による食育講話を聞いていただきました。その後は教室に行き、廊下から子どもたちが配膳する様子を見学しました。子どもたちは、参加した保護者の分も含め、いつもの2倍の準備でしたが、張り切って仕事をしていました。そして、親子で一緒に給食をいただきました。いつもの給食の様子を話したり、おかわりを普段よりいっぱいしたり、楽しく給食を食べていました。保護者の方からは、「学校生活での給食の様子が見られ、有意義な活動でした。」「栄養教諭さんのお話が、とても勉強になりました。」等の声が聞かれました。



<楽しく食べました！>

※飯島栄養教諭からのメッセージです

- ・給食センターの調理員は、直接会うことはなくても、心を込めて作っています。
- ・六小独自の取組として、「給食ペロリカード」を配布して、食べる意欲を高めています。
- ・家庭で、「全部食べた。」と報告があったらいっぱいほめてあげてください。
- ・嫌いな物でも、味覚形成に大事な時期なので、「一口は食べようね。」と声かけをお願いします。

50のルール[1]早寝早起きをしよう

早く寝て朝早起きをすることは、生活のリズムを整え、健康に過ごすために大切なことです。「寝る子は育つ」という言葉があるように、みんなの体は寝ている間に背が伸びています。早く寝れば、それだけ体がすくすく育ちます。

また、「早起きは三文の徳」という言葉があるように、早く起きれば朝食もゆっくり食べられますし、学校にも時間に余裕をもって行けます。

50のルール[2]朝食をしっかりとろう

朝食は、一日三回の食事の最も大切なものです。最近、朝食をとらない人が増えていますが、毎朝バランスのとれた朝食をとりましょう。

朝食をとることにより勉強への集中力も高まり、運動する意欲もわいてきます。

50のルール[3]感謝して「いただきます」「ごちそうさま」を言おう

みんなが毎日ごはんを食べられるのは、米、野菜を作ってくれる農家の人や、豚や牛を育てる人、魚をとる人、運ぶ人、料理してくれる人のおかげです。

そういう人たちに感謝して、「いただきます」「ごちそうさま」を言いましょう。